

挨拶

あけましておめでとうございます。

新型コロナ禍で始まりその対策に翻弄されて終わった昨年でしたが、まだまだ終息が見えず、感染者は増加し続け首都を中心に再び緊急事態宣言が出されるなど、不安を抱えたまま新しい年が始まりました。この人類の大きな試練とも言える状況は、近年推し進めてきた経済優先の中の豊かな暮らしにどっぷりと浸かって、何もかもあたりまえとしてきた私たちに大きな警鐘を鳴らしているように思えてなりません。今一度、人が生きる原点を見つめ直す大事な機会ではないでしょうか？とはいうものの、今逼迫する医療現場で毎日精神的にも身体的にもギリギリの所で日々仕事をされている方々には、本当に頭の下がる思いです。

東海地区では、年長交流については6月中旬から、日帰り交流は開始しましたが、交流合宿はすべて取りやめています。日帰り交流でも愛知県内の4園（恵の実、おひさま、つばさ、蓮華の家）のみで、たけのこ保育園は県外という事や、コロナ観の違いにより、昨年度年長交流最後のお祝い会合宿（2月末）から全く交流が出来なくなっています。それは職員の交流も同様ですが、どのようにしたら学びや交流ができるかを探り、東海地区の職員学習会7月、12月の2回、および園長会もリモートで参加となっています。でもこのような中、しばらく交流が途絶えていた新城のつばさ保育園が、年長交流と職員学習会に参加するようになり、交流の輪が少し広がりを見せています。

そんな状況の中ですが、昨年秋、冬の東海地区各園の様子をお知らせいたします。

蓮華の家共同保育園 安藤 千都子

東海地区学習会

2020 年 12 月 12 日（土） 会場：蓮華の家共同保育園・蓮の実保育園

テーマ：「森は生きている」から斎藤先生が大事にされた文化について考え学び合おう

午前：映画「森は生きている」上映 グループ討議・報告 まとめ

午後：年齢部会（0, 1, 2, 3, 4, 5 歳児、学童、給食） 園長会

今年新設された蓮の実保育園（0～2 歳児対象）に、恵の実、おひさま、つばさ、蓮華の家の4園、職員47人が集まり、「森は生きている」の歌を8曲歌うことから始まりました。その後、俳優座が演じた映画「森は生きている」を上映。古い映画で画質音質ともに悪くなっているのですが、とても貴重な映像なのでみんな真剣に鑑賞しました（たけのこ保育園には ZOOM 配信）。

5, 6人で8グループでの討議では、事前に絵本「森は生きている」の斎藤先生や岩波の「森は生きている」の湯浅芳子氏のあとがき、カスチュールの会の冊子「マルシャークのメッセージ」を読んでおくことになっていたこともあり、作品の神髄に迫る感想や意見が出されました。ナチスドイツとロシアの過酷な戦いの中で描かれた作品なのに、非人間的なまま母と姉娘に対して報復ではなく、犬の姿に変えるが再び人間に戻れる道があるというところに、厳しいロシアの冬の森という大自然の前に、すべての人間は平等であり、どんな罪を犯した人でも許されやり直すことができるというマルシャークの深い人間性を感じました。午後は少し離れた蓮華の家共同保育園も使って、年齢部会を行い、各園の絵を見ながら保育実践を語り学びあいました。年長部会では交流で刺激を受け合って成長している姿を確認し、これからも日帰りの交流を大事にしていくことになりました。

各地区の運動会の様子

おひさま保育園

今年度もアブライトのピアノを朝早く園児のお父さん達が城跡公園に運んで、森の中の運動会が行う事ができました。コロナ対策で、自然の中でも父母の皆さんはできる限りマスクを着用。昼食は園児も全員、マスクをして各家庭の持ちよりのおかずを頂きました。除菌消毒液は常備して、トングにて取りました。コロナ退散！子ども達に希望をもって保育したいと願い、鯉のぼりを2匹製作。親子競技で「鯉のぼりくぐり競争」を行い盛り上がりしました。



年長児作成「鯉のぼり」



大人作成「鯉のぼり」



「親子競技」



「マスクをして」職員作成デザート

つばさ・つばさこ保育園

10月24日（土）、さわやかな晴天の下、つばさ・つばさこ保育園の運動会が行われました。前々日からの雨で、運動場はぬかるみ、いたるところに水たまりができていました。そのため、お父さんたちに早出の作業をお願いして、砂や土を運び整地をしたところ、わずか一時間ほどで見違えるようにきれいになりました。”おじパワー”さすがです。

前半は、ホールで0歳児の障害物と1～5歳児のリズムを行いました。大勢のギャラリーの前で、子どもたちもいつもとはちょっと違った様子。緊張もあっただろうけれども本当によく頑張りました。ただ一人の年長児S君は、不安と緊張のあまり泣き出してしまいましたが、自分を律して最後まで力いっぱいやり切ることができました。側転は練習以上に見事だったし、その立派な姿は、大人たちの感動の涙を誘いました。後半は、お父さんたちのおかげできれいになった運動場で、1才児から順に学童までが障害物競技を披露しました。一人一人の子どもたちが、自分の課題に真剣に挑戦する姿にお父さんお母さん達から大きな声援が飛び、笑いあり涙ありの、ほのぼのとした本当に楽しい運動会になりました。最後に行った”竹踊り”は真剣な顔で挑戦。大いに盛り上がりしました。

競技終了後は、それぞれ持参したお弁当で会食。保護者、職員が思い思いに感想を語り、和やかな交流会になりました。つばさ保育園が小規模保育園として認可されてから、初めての0～5歳児・学童までがそろった運動会。それにしても、年々、確実にグレードアップしてきていることが実感できる充実した運動会になったと思います。



蓮華の家共同保育園・蓮の実保育園



10月18日（日）隣接する福岡小学校のグラウンドを借りて、この4月に開園した企業主導型保育園「蓮の実」と今までの蓮華の家共同保育園合同の運動会を行いました。新型コロナのため、競技は園児のみ、学童と大人はリズムのみの参加という縮小した形になりました。

前日は雨でしたが、当日朝には止み、水はけがよいグラウンドだったため、予定通りに行う事ができ、園児たちの元気な歌声からはじまりました。小さい年齢の子達の中には、普段と全く違う場所と雰囲気、初めはお母さんとなかなか離れなかったり、不安げな子もいましたが、保育士がゆったりと構えて対応し励ましを受けながらどの子もやりきりました。3歳児以上は初めての会場でも臆することなく堂々とリズムをしたり、それぞれ年齢別の障害物競技に張り切って取り組み、いたるところで感動の声や拍手が沸き起こりました。園児の競技に絞ったことでゆっくりと子どもたちの姿を見て貰うことができたと思います。運動会后、年長児は縄跳びを始め、縄跳びの糸車や荒馬、兄弟すずめなど自分達でリズムごっこをして遊んでいましたが、年長の「荒馬」のリズムを真似して、しっぽ取りのしっぽをつけたり服の前を持って「ハイヨー」と走って遊ぶ、2歳児や3歳児の姿がよく見られました。



お月見会

恵の実保育園



今年度の年長の親御さんたちは、遠方に出かけたり、交流や合宿ができないかもしれないコロナ禍のこの一年の保育をどう豊かなものにしていくかを考え、保育と協力して様々な活動を生み出してくれました。近くの田んぼで子どもたちと田植えをし、稲を育て、自分たちの育てたお米で御飯を作って「お月見会」を楽しんだり、草木をとってきて草木染でTシャツや手ぬぐいを作ったりするなど、感動体験を父母の協力のもと、換気や消毒、三密を避けるなど感染症対策を徹底しつつ実現してきました。工夫次第で子どもたちの生活を豊かにする視点や創造性は、これからの時代を生きる上でとても大切なことだと学ばれました。



クリスマス会

たけのこ保育園

今年のクリスマス会はコロナ禍での開催ということもあり、年長以外の保護者の参加をなくし、時間も縮小して行うことになりました。

12月に入りもみの木が山梨から届きました。散歩でとってきた木や葉っぱ、木の実でクリスマスの飾りを作りながら、子どもたちはクリスマスを心待ちにしていました。

クリスマス会当日、年長の保護者による「森は生きている」の立体的な舞台と歌声に、子どもたちもお話に引き込まれ、大きなプレゼントとなりました。「森は生きている」は斎藤先生の絵本の世界観を大事にしてほしいという園の要望に応え、時間のない中職員と何回も打ち合わせを重ね、取り組んでいただきました。

最後にサンタさんからのプレゼントをもらい笑顔いっぱいクリスマス会は幕を閉じました。

外部の方の参加ができないため、職員がサンタとなり、園庭にプレゼントを置いていくサンタさんを室内から見ているだけになりましたが、「子どもたちはサンタさんが来た！」と大喜びでした。後日クリスマス会を撮影したビデオを配布しましたが、保護者からも、「コロナ禍ですが、子どもたちのワクワク！高揚した様子を見て、園や年長保護者の皆さんに大感謝です」「子どもたちがサンタさんとトナカイが来たとか、劇でこんなことがあったとかいろいろ話をしてくれました」「コマで楽しそうに遊んでいます」との声をいただきました。



新園の紹介

蓮の実保育園(企業主導型保育園)

2020年4月、0～2才児対象の保育園として開園しました。蓮華の家とは違って柱のないホールと保育室に繋がる給食室があります。

園庭には土山を作り、道路に面したところには、OB有志が植樹をしてくれて活動の基盤ができました。

子どもたちは、毎日広いフロアを一杯使ってリズムをし、土山で思いっきり泥んこを楽しんでいます。

開園からコロナ禍と重ったこと、また思いと実際の違いなど思わぬ問題に頭を悩まされたりしていますが、そんな時こそ、と職員一同みんなで協力しあって保育しています。

蓮の実保育園園長 鈴木 由美子

